

栄養系鉢物りんどうの品質向上のための挿し穂調整法

岩手県の鉢物りんどうはこれまで種子系の「いわて乙女」により産地が形成されてきたが、「あおこりん」「ももこりん」等の新品種は栄養系品種のため挿し木繁殖で増殖する。新品種を鉢物経営に定着させるためには挿し木繁殖法や需要に対応した高品質生産技術の開発が必要であるが、品質向上のための挿し穂の調整法を明らかにした。

挿し穂の調整

- (1) 挿し穂として頂部から4節目までを利用するが、天挿し2節、その下部を管挿し2節として利用する。
- (2) 越冬芽は節部に形成するため、天挿し、管挿しとも1節部を挿し木時に地下に埋設する。
- (3) 1年苗利用作型で開花の揃う挿し穂の調整法は以下のとおりである。



写真1 挿し木時の状態

表1 挿し穂の調整法

品 種 名	採穂時の 生育節数	挿し穂の調整	
		3月下旬挿し	4月下旬挿し
あおこりん	7～9節	天挿し2節 管挿し2節	天挿し2節 管挿し2節
ももこりん	8～9節	天挿し2節 管挿し2節	天挿し2節 管挿し2節

表2 挿し穂の調整による発根率、品質、開花期、越冬芽形成率
(品種：あおこりん)

挿し穂 の調整	母株 生育 節数	発根率 (%)	株の ボリューム	開花期 (月・半旬)	越冬芽 形成率 (%)	総合 評価
天挿し2節	10	100	3.9	9.4～9.6	50	
管挿し2節	10	100	2.5	9.4～10.1	60	
天挿し2節	9	100	3.9	9.4～9.6	70	
管挿し2節	9	100	2.8	9.5～10.1	80	
天挿し2節	8	100	3.7	9.4～9.6	70	
管挿し2節	8	90	2.9	9.4～10.1	80	
天挿し2節	7	100	3.6	9.4～10.1	80	
管挿し2節	7	100	3.0	9.5～10.2	90	
天挿し2節	6	100	3.0	9.6～10.2	67	
管挿し2節	6	50	2.5	10.1～10.2	50	

挿し木時期：4月28日、鉢上げ時期：6月4～5日



写真2 発根時の状態 (天挿し2節)



写真3 発根時の状態 (管挿し2節)